

みんなの願い！行く年来る年 無災害


筑西地区年末年始無災害運動の実施について

年末年始はたいへんあわただしく、普段とは異なる非定常作業も多くなりますので、毎年労働災害が多発する傾向にあります。昨年 12 月と今年 1 月の年末年始期には、茨城県内において 9 名の方が亡くなりました。これは他の時期と比較して明らかに多い結果となっています。

また、本年 10 月末現在の管内の休業 4 日以上の労働災害は 252 件発生しており、前年同期と比較して 27% の大幅な増加となっています。

筑西労働基準監督署では、年末年始を無事故で過ごし、誰もが明るい新年を迎えられるよう「筑西地区年末年始無災害運動」を実施します。

管内の労働災害防止団体、事業主、労働者及び関係機関のみなさまのご協力をよろしくお願いします。

 厚生労働省 筑西労働基準監督署長

野口 清

「筑西地区年末年始無災害運動」のポイント

趣 旨

年末年始期において増加する労働災害を防止し、無事故で明るい新年を迎えることができるよう、災害防止団体、事業者、労働者及び関係機関が連携して「筑西地区年末年始無災害運動」を展開します。

実施期間

平成 22 年 12 月 15 日から平成 23 年 1 月 15 日までとします

キャッチフレーズ

「みんなの願い！行く年来る年 無災害」

実施事項 次の事項を実施してください。

災害防止団体の長による年末年始期の安全衛生方針の決意表明

年末年始期における事業主による自主的安全パトロールの実施

事業主による年末年始期の安全衛生方針の決意表明

事業場において年末年始期の安全衛生活動計画（重点 3 項目）を作成、計画

実施

非定常作業における安全確認の徹底